

# 競 技 注 意 事 項

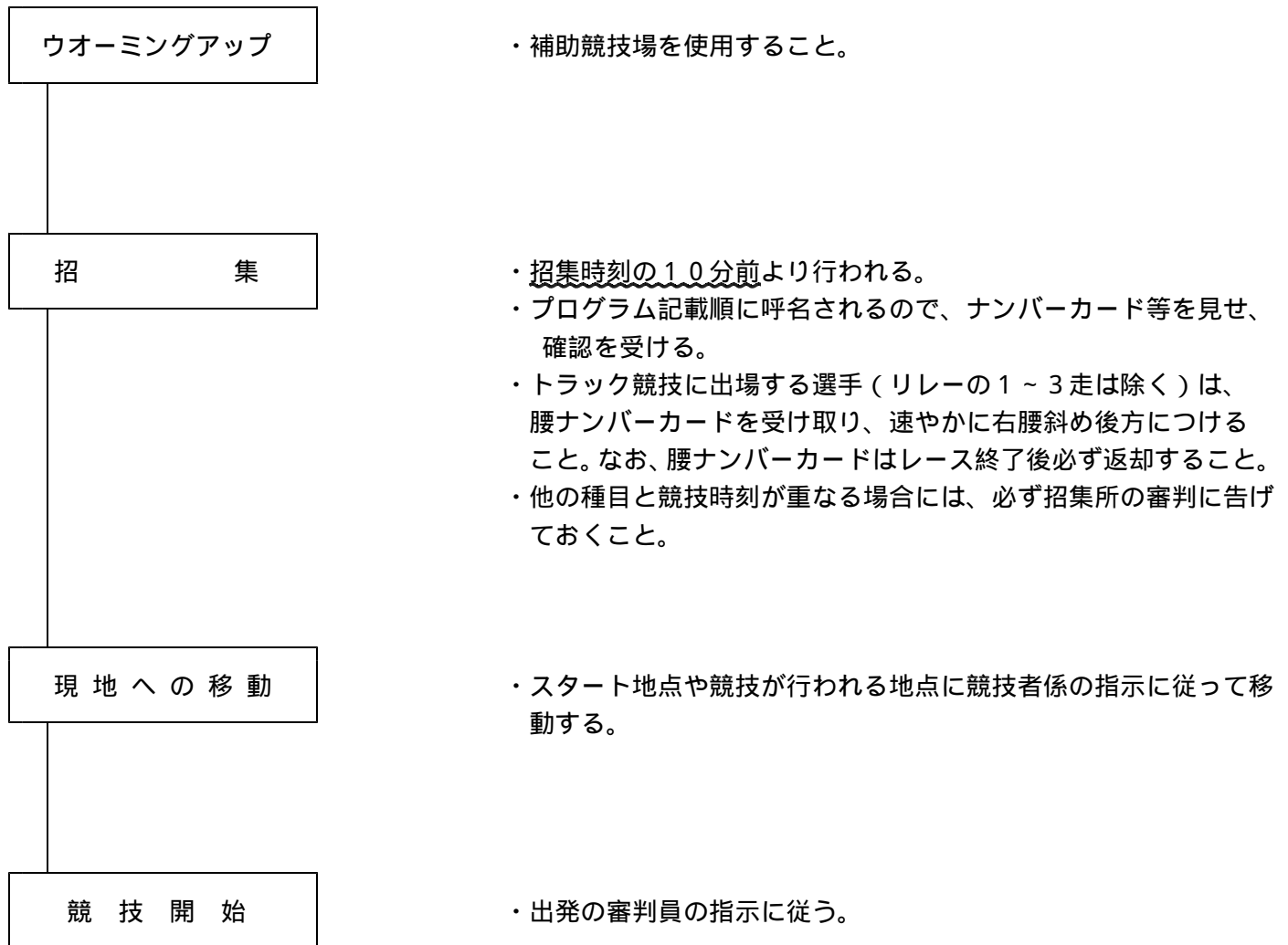
1. 競 技 方 法 2009年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード(男女赤字)を胸背部につける。ただし、棒高跳、走高跳は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手(リレーの1~3走者を除く)は全員腰ナンバーカード(大会本部で用意する)を右腰後方に付ける。
3. 招 集  
トラック競技は競技時刻の20分前、走高跳・走幅跳・砲丸投は40分前、棒高跳は100分前を招集時刻とする。  
(ただし走高跳・走幅跳・砲丸投の決勝は競技時刻の30分前とする)  
競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。  
代理人は認めない。(複数種目出場者とリレー競技は除く)  
招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は補助競技場のみとする。ウォームアップ場使用上の注意を参照すること。
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。
6. 競 技 順 予選の走路順・投跳順はプログラム掲載順とし、準決勝・決勝の走路順・投跳順は抽選による。
7. オーダー用紙 リレーに出場するチームは、オーダー用紙を招集所で受け取り、大会1日目の29日に招集所に提出すること。ただし、当日30日の招集時刻の1時間前までは変更可能。
8. トラック競技  
準決勝、決勝あるいは予選から決勝へと進む場合、1レース8名で行う。ただし、同記録で1レース9名を超えた場合は、写真を拡大して進出者を決める。それでも決められない時は抽選とする。  
男子200m、400m、4×100mR、女子200m、4×100mRは予選をタイムレースとする。  
男子3000mはタイムレース決勝とする。
9. フィールド競技  
走高跳、走幅跳、砲丸投は予選を行う。走高跳の予選通過記録は男子1m70、女子1m50とする。走幅跳の予選通過記録は男子6m00、女子5m00とする。砲丸投の予選通過記録は男子10m60、女子10m60とする。尚、予選通過記録突破者が12名に満たない場合は、予選12位までの者で決勝を行う。走幅跳、砲丸投の決勝は3回の試技の結果、上位8名は成績の低い順に更に3回の試技が許される。
10. バーの上げ方  
男子走高跳予選 155 160 165 170  
男子棒高跳 280 300 320 以後10cm  
女子走高跳予選 125 130 135 140 145 150  
男子走高跳決勝 165 170 175 180 185 以後3cm  
女子走高跳決勝 146 151 154 157 以後3cm

(当日変更する場合がある)

11. ス パ イ ク      トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
12. 表              彰      男女とも総合優勝には賞状・優勝旗、2～8位に賞状を授与する。  
各種目の1～3位にメダルと賞状、4～8位に賞状を授与する。  
学校対抗とし、1位～8点、2位～7点・・・8位～1点とする。同点の場合は、  
上位入賞者の多い学校を上位とする。それでも同じ場合は、リレーの上位の学校を上位とする。
13. そ              の              他      当日の選手の変更は一切認めない。  
競技する選手以外は競技場内に立ち入ることはできない。  
更衣は更衣室で行い、更衣室は常に清潔に努め、ロッカー等には貴重品・衣類等は置かない。  
空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。  
関東大会出場選手については、通信陸上競技大会と総合体育大会の結果で強化委員会  
が決定する。  
本大会のリレーの優勝チームは、全国大会に出場できる。また、3位までのチームが  
関東大会に出場できる。  
応援幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に、テントはスタンド中段  
より上か芝スタンド上段に設置すること。  
ウオームアップ場には設置してある用器具以外は持ち込まないこと。  
スタンドの手すり際に立っての応援や、メインスタンドでの集団での応援は禁止する。  
中学生は、原則として競技場内で携帯電話を使用しないこと。

# 選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



注意1 リレーについて 招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。なお、オーダー用紙を招集所で受け取り、大会1日目の29日に招集所に提出すること。ただし、当日30日の招集時刻の1時間前までは変更可能。